北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	経済システム理論Ⅱ	科目コード	1156	単位数	2
担当者名	複数担当教員	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	E,F,H	実務経験	無
ナンバリング	CEc402	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

経済システム理論Ⅱでは、ミクロ経済学の基礎的な理論を学ぶ。個々の経済主体（家計、企業）の合理的な行動に共通する基本的なルールを理解すること、また、ビジネスに必要な市場に関する基本的な諸問題を理解することが、この授業のねらいである。

到達目標

・「限界」や「最適」という概念が理解できる。
・完全競争市場での消費者の最適消費行動、企業の最適生産行動の意味を理解し説明できる。
・市場の機能と分類、それらの限界を理解し説明できる。
・パレート最適の概念や余剰分析を用いて市場の効率性を議論できる。
・外部性の概念を理解し、余剰分析を適用して市場の失敗の評価を行うことができる。
・学修過程で、学内LAN(WiFi)のアクセスポイントを経由してオンライン上の最新の経済データや情報サービスに数多くアクセスし、効率的にICT（情報通信技術）を利活用できるようになる。

授業内容

1週目 経済学とは？、市場経済とは？、ミクロとマクロ、ミクロ経済学の全体像
2週目 消費の理論（１）限界効用理論
3週目 消費の理論（２）無差別曲線（定義と仮定）、予算線・最適消費点
4週目 消費の理論（３）上級財・中級財・下級財、所得-消費曲線、価格-消費曲線、所得効果と代替効果、需要曲線
5週目 消費の理論（４）需要の所得・価格弾力性、労働供給量の決定
6週目 生産の理論（１）利潤と収入、費用、供給曲線
7週目 生産の理論（２）完全競争企業の最適生産量
8週目 生産の理論（３）完全競争市場の長期均衡、生産要素の需要
9週目 市場の理論（１）供給独占、需要独占、双方独占
10週目 市場の理論（２）独占的競争、寡占市場、屈折需要曲線、フルコスト原則、売上最大化仮説
11週目 市場の理論（３）余剰分析
12週目 市場の理論（４）市場均衡と均衡の安定性（ワルラス調整、マーシャル調整、蜘蛛の巣原理）
13週目 効率性と公平性、パレート最適
14週目 費用逓減産業、自然独占、価格規制
15週目 外部効果、公共財
16週目 中間・期末テストの講評等の実施。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習と復習は基本的にテキストを熟読し、併せてmanabaで配信するオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
・予習：毎回の授業で指示された箇所を予め熟読し、manabaで配信するオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
・復習：manabaで配信するオンデマンド動画教材を再度視聴し、課された提出課題をmanabaから提出し、授業で指示されたテキストの練習問題を解くこと。(90分程度)
・予習・復習等においては、講義資料や学内無線LAN(Wi-Fi)を用いてオンライン上から入手した最新の経済データや情報サービスを活用して課題に取り組むこと。

成績評価の方法・基準

・成績評価は、２回実施するテストの点数（90%）と課題の提出状況（10%）により行います。

履修上の留意点

・講義は原則として対面で実施し、manabaでオンデマンド動画教材も配信します。
・成績評価は、原則として11週以上授業に出席した学生を対象に行います。
・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

課題に対するフィードバックの方法

・テストの講評は原則としてテスト実施の翌週の授業の中で行い、提出した課題の解答は、提出した翌週にmanabaで公開します。

テキスト

石川秀樹『速習！ミクロ経済学 2nd』(中央経済社) 2,860円。

参考書

N･グレゴリー・マンキュー『マンキュー経済学Ⅰミクロ編　第４版』(東洋経済新報社) 4,400円。

更新日付

2026/01/09 03:16